



その感触を
大切に！

恒例の陶器まつり。今年は3月30日から5日間行われ、毎日大ぜいの人出でにぎわいました。その中で「陶芸の館」ではロクロ実演コーナーも設けられ、熱心に見学する姿が見られました。（関連6～7ページ）

広報はさみ

4 / 60

No.266

町の人口（3月末現在）

- ・総人口 15,873人
- 男 7,632人
- 女 8,241人
- ・世帯数 3,847世帯
- ・転入117人・転出154人
（住民基本台帳調べ）

主な建設事業

農業構造改善事業

この事業では、圃場区画整理を中心に実施していますが、今年度は、鬼木、野々川、永尾の3工区で約12ヘクタールの圃場整備を実施する予定です。

事業費 145,855千円

公営住宅建設事業

協和団地に前年度20戸、今年度15戸を建設する予定です。



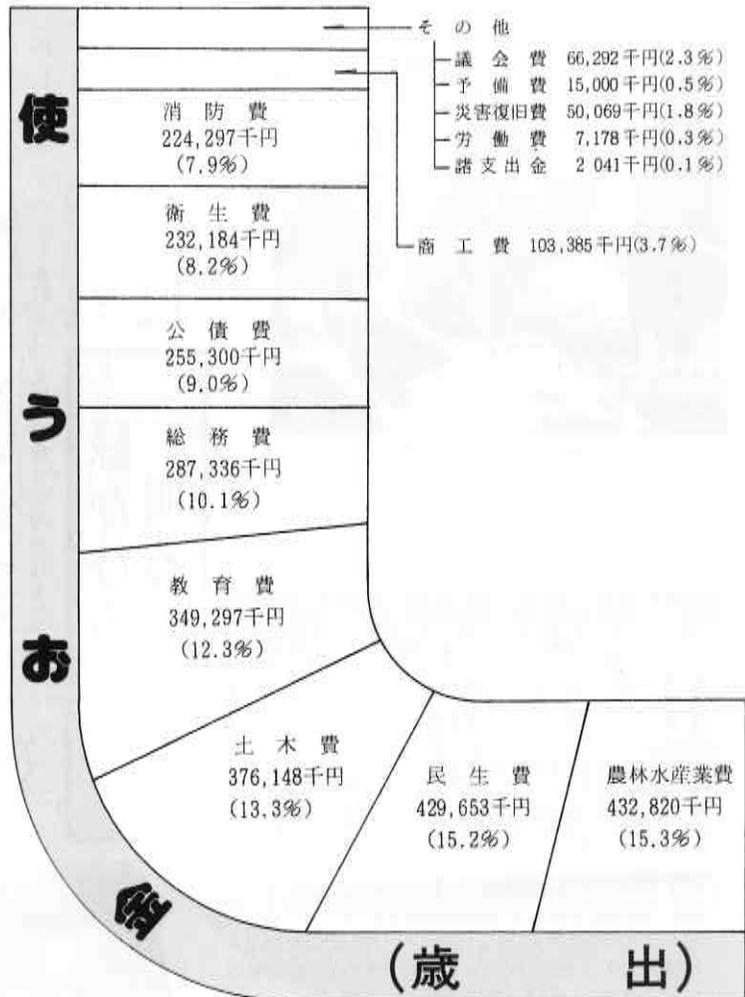
事業費 120,440千円

消防防災無線通信施設整備事業

この事業は、これまで町内各世帯に取り付けてある屋内放送施設を利用して、役場から直接一斉放送できるようにするものです。

事業費 110,934千円

28億3, スタ



会計別	60年度	59年度	比較
	千円	千円	千円
上水道	235,228	255,600	△20,372
簡易水道	18,350	17,000	1,350
計	253,578	272,600	△19,022

六十年度の水道事業会計の予算は別表のとおりです。

○水道事業

六十年度の水道事業会計の

予算は別表のとおりです。国保並びに老人保健については、これまで制度改正(退職者医療制度)などの導入により、今後とも慎重な事業運営が求められています。

また、老人保健特別会計予算は、総額五億九千七十六万八千円と前年度に比べて、一千三百九十四万六千円、二・四割の増となっています。

六十年度の国民健康保険事業特別会計予算は、総額八億三千四百九十五万八千円で、前年度の当初予算に比較して一億一千二百二十三万円・十五・五割の増額となりました。

○国保

特別会計



町内参加者も各地区ごとに植栽

県民植樹祭

鴻ノ巣公園に ツツジなど三千本植栽

五十九年度の県民植樹祭が、好天気に恵まれた三月二十四日、本町鴻ノ巣公園に町内をはじめ県内各地から約二千人が参加し、盛大に開催されました。

この植樹祭は、県と県緑化推進委員会が主催し市町村の協賛で進められるもので、今回が十一回目。毎年、緑化運動の一環として、県民の緑化思想の普及と高揚を図る目的で実施されているものです。

十二時三十分、緑の少年団の入場行進に続き、県警音楽隊のファンファーレを合図に開会。三村副知事、虎島県緑化推進委員会会長らが、「本町緑化・花いっぱい運動」に対して敬意を表すとともに、これを機会に今後ますます、緑の輪を広げていただきたい」とあいさつ。また、緑化功労者の表彰式では、一個人、三団体が受賞し、そのうち本町から林業関係に功績のあった高月久雄さん（川内郷）と花いっぱい運動に積極的に取り組んでいる、長野、折敷瀬各老人クラブが受賞しました。

記念植樹では、山モミジ十



「植樹祭どうだった？」



緑化功労者として受賞した(右から)高月久雄さん・折敷瀬老人クラブ(代表・溝田義雄さん)・長野老人クラブ(代表・今村八郎さん)

緑がひらく
明るい未来



本を副知事、町長、緑化功労者が植樹したのに引き続き参加者全員が移植ゴテを手にヒラド・クルメツツジ約三千本を植え付け緑豊かな町づくりを誓いあいました。

また、アトラクションの部では、町婦人会による波佐見音頭や県警音楽隊・同カラーガード隊による演奏などで花を添え、植樹祭を一層盛りあげました。

一方、植樹祭に先だち農村環境改善センターでは、町婦人会総会の中で「快適環境記念講演会」が行われました。

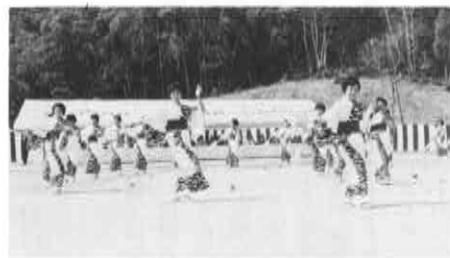
本町が五十七年度から取り組んでいる快適環境モデル事業の実績発表と兼ねて計画したもので、「美しい環境をつくるために」と題して、県環境部の伴公害規制課長の熱の入った公演に、会場では熱心にメモを取る姿が見られました。また、会場周辺では、町写真クラブ員(江口末男さん、

田中徹郎さん)が撮影した波佐見の野鳥・わが町の風景写真も展示され、訪れた人たちの目を引いていました。

なお、この度の、県民植樹祭及び快適環境モデル事業記念講演会の開催にあたり、ご協力いただきました方々に対し心からお礼申しあげます。



歓迎のあいさつをする福田町長



花を添えた町婦人会踊り

波佐見勤労者体育センター完成

六月オープン!

スポーツ・各種集会などに利用

町民総合会館建設計画の一環として、波佐見中学校の隣に建設していましたが、「体育センター」がこのほど完成いたしました。正式名称は、雇用促進事業団の助成を受けて建設したため「波佐見勤労者体育センター」となっ

ています。建物は、鉄筋コンクリート、一部二階建て、のべ二千百十七平方メートルで、総工費は約三億二千万円。一階は、バスケットボール、バレーボールコートが二面、バドミントン六面、剣道、柔道四面など競技できる広さです。二階は、卓球場として、卓球台八台が置けるほか、二〇〇人収容の観覧席も設置しています。また、文化行事な

どの集会施設としても利用できるように、音響効果にも配慮をしています。

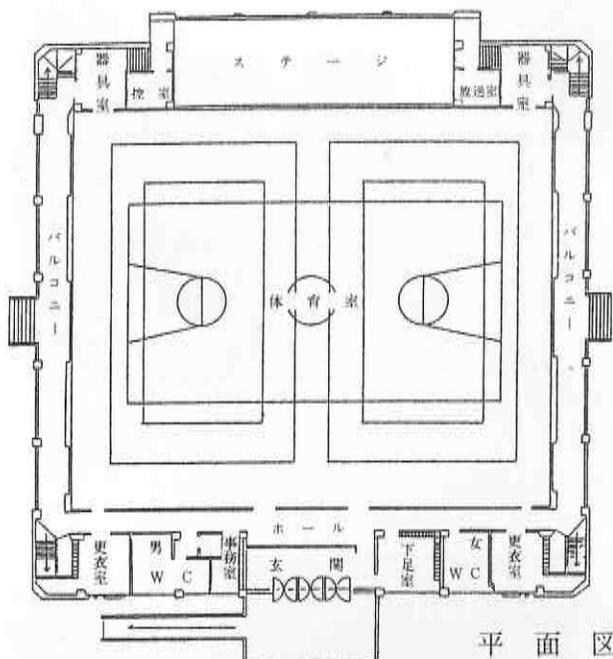
オープンには、現在、道路整備や体育器具などの購入を行っている関係で、新町発足記念日にあたる六月一日を予定しています。

なお、波佐見町使用料、手数料条例の改正により、勤労者体育センターをはじめ、波佐見中体育館、東小体育館、南小体育館でも使用される場合は、使用料を徴収することになっていきます。徴収する時期は、体育セン

ターがオープンする六月一日以降になります。詳しいこと

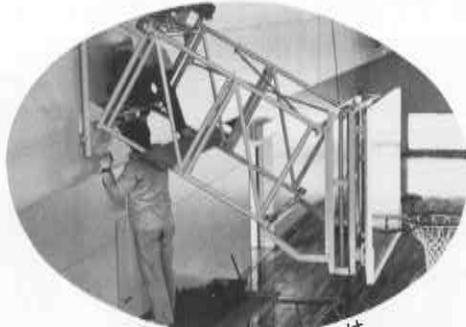
は、社会教育課(町公民館内)へおたずねください。
(☎八五二〇三四番)

波佐見勤労者体育センター



平面図

(2階の一部・観覧席及び卓球場は除く)



急ピッチで進む器具取付



ステージは幅21m・奥行6.8m



2階両側には200人収容の観覧席

陶器まつり が繰り出す



これ、いいじゃない!



「ヨカトバ エツクンナッセ」

二十七回目を迎えた、恒例の波佐見焼陶器まつりが、三月三十日から四月三日まで、やきもの公園を主会場に行われました。初日から好天気に恵まれ、約百三十軒の出店では、県内外からの団体客や家族づれで大変



お隣さんにおみやげでも!



“力作” ぞろい85ながさき陶磁展





ロードレース大会
—子どもから大人まで約800人が参加—

大盛況

約5万人



これ、おばあちゃんにどう?



なにごわいを見せ、五日間の売り上げは約三億円に達しました。

また、協賛行事として「'85ながさき陶磁展」やロードレース大会、弓道大会なども行われ、陶器まつりを一層盛りあげました。



「やきものの出来上がるまで」陶芸の館



年々盛り上がる「弓道大会」
県内外より約250人が参加



「波佐見産栄会」熱唱!

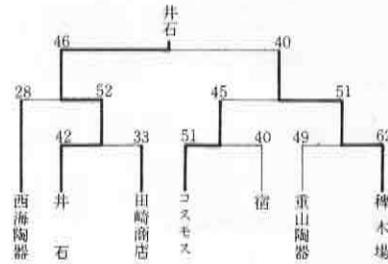
井石初優勝飾る!

第十七回町民バスケットボール大会

第十七回町民バスケットボール大会が、三月九日・十二日波佐見中学校体育館で開催されました。

今回は、町内の地区・職場など七チームが参加、激しいゲームを展開しました。

決勝は、井石竹と榎木場竹の対戦となり、その結果井石竹が見事初優勝を飾りました。なお、試合結果は次のとおりです。



優勝した井石チーム

白球でつなぐ友情の輪

第二回東彼杵郡近接少年軟式野球大会

第二回東彼杵郡近接少年軟式野球大会が、三月三十一日鴻ノ巣公園を主会場に開催されました。

本町をはじめ郡内及び有田・嬉野・佐世保・伊万里などから十二チームが参加、白球で友情の輪を広げました。

会場には、父兄らも応援にかけつけ、盛んに声援を送っていました。

なお、試合は二プロックに分れて行われ、伊万里中と大野中が、それぞれ優勝を飾り



こどもの日5月5日



また、同日甲辰園グラウンドでは、町内学童の部軟式野球大会が行われ、波佐見バイレッツチームが見事優勝を飾りました。

集まれ

良い子・悪い子・普通の子!!

「ふるさとに活力を
こどもに夢と自立心を!!」

音楽会おる五月

おじいちゃん、おばあちゃんの後輩に昔の遊びや、細工物の伝承を、お父さん、お母さん、青年の方はこどもと共に一日を

皆さまの参加参画、そしてアイデアを出して頂き、はさみの町の「こどもの日」として定着発展させて行きたいものと祈念しております。

波佐見ライオンズクラブでは次のような計画をしております。

日時 五月三日(憲法記念日)

十時から十五時まで

場所 農村環境改善センター広場(雨)



青空天国・こどものつどい

天のときはセンター(内)

主催 波佐見ライオンズクラブ

後援 教育委員会ほか各種団体

行事 青空音楽祭、作りものの、遊びコーナー

演奏 中学校ブラスバンド・海上自衛隊音楽隊

合唱 ママサンコーラス・児童合唱団

伝承あそびコーナー

アイデアあそびコーナー

細工物 竹細工コーナー・藁細工コーナー

機械組立、分解コーナー

ナー・絵画コーナー

バザー おにぎりコーナー等

伝承あそび、アイデア遊び、クイズ、手品等楽しいプランがいっぱいあなたをまっています。ご家族おそろいで、五月晴の一日を青空と共にかけましよう。

主査級へ五人昇格

町職員人事異動

町職員人事異動が四月一日付で発令され、主査級へ五人が昇格するなど、全部で十五人の異動となりました。

なお、異動した職員は次のとおりです。(一)書きは旧。

〔昇格〕主査級
松沢敏行・水道課主査(同主事) 坂本健吾・建設課主査(同主事) 野中百合子・総務課主査(同主事) 一瀬恵子・公民館・社会教育課主査(総務課主事) 山口靖子・水道課主査(公民館主事)以上昇格

岩永真由美・農業委員会(議会事務局) 松下万喜子・教育委員会管理課(収入役室)

お礼 (寄贈図書)

公民館から心算します。長
先生が御寄贈をいただきました。先生は御健勝と御活躍を祈念いたします。

「名著複刻 漱石小説文学館」

『吾輩ハ猫デアル』『謙虚集』から、漱石晩年の『こころ』『道草』まで、14点16冊と解説書が添えてあります。吾輩ハ猫デアルは、上・中・下三冊とも菊判・天金・アンカット本で、16冊とも原本の元の姿を再現されています。漱石研究の基本資料としても貴重なものと思います。

なお、これまで福田先生から町内の各小中学校などへ御寄贈いただいた数は、合計3,242冊にのぼっています。

善意の窓

(三月二十五日現在)

●香典返しにかえて
宿 郷 武部 勇様

叔母様故松尾トク様
田頭郷 山道 福松様
御尊父故山道松造様

小樽郷 前川 巧様

御母堂故前川キクノ様

稗木場郷 村山 允登様

御子息故村山博隆様

永尾郷 里見 安様

御母堂故里見春子様

中尾郷 来田 峰生様

御尊父故来田勝一様

湯無田郷 山崎 忠利様

御尊父故山崎輝利様

折敷瀬郷 大串 保馬様

御母堂故大串トヲ様

●指定寄付 (香典返しを、
明るい社会づくり運動波佐見
地区推進協議会へ)

宿 郷 松本ミサヲ様

御主人故松本金吾様

以上の方々から本町社会福祉
事業資金に寄付していただき
ました。

それぞれのお寄付に対し厚く
お礼申し上げます。

波佐見町善意銀行

社会福祉法人
波佐見町社会福祉協議会
会長 福田 寛吾

お誕生おめでとう

子の名 親の名 住所

福田 太一 友和 中尾郷

前田 大輔 俊久 中尾郷

疋田 涼 健一郎 三股郷

柿本麻衣子 廣海 野々川郷

岩永 修平 修 井石郷

朝水 将貴 幸雄 井石郷

松澤 圭祐 敏行 金屋郷

松田 春奈 智敏 折敷瀬郷

宮本 洋 憲二 宿郷

岩永 拓 憲幸 宿郷

村山 佳代 良弘 宿郷

湯口 純香 純一 稗木場郷

松田祐次郎 博光 稗木場郷

馬場 瑛太 正行 稗木場郷

楠本 恭子 光徳 岳辺田郷

初手 京子 和幸 乙長野郷

棚倉 雄大 憲幸 乙長野郷

楠本かおり 寛 乙長野郷

谷村 仁子 春美 志折郷

溝上 才男 中尾郷

田中 律子 川内郷

太田 学 三股郷

山崎 昌子 武雄市

徳増 昌彦 佐世保市

岸川 厚子 永尾郷

大津 典雄 佐世保市

田川ちづる 永尾郷

内嶋 広利 川棚町

里見由美子 永尾郷

森澤 淳 別府市

田中美枝子 永尾郷

織田 良介 小樽郷

尾崎 清子 乙長野郷

佐々木 譲 野々川郷

伊藤 善子 東彼杵町

力石 幸一 川棚町

松尾美保子 井石郷

松澤 憲三 埼玉県

金氏ますみ 井石郷

坂中 信浩 佐世保市

浦川 千春 金屋郷

井関 信行 折敷瀬郷

久田みゆき 佐世保市

古賀 勝 北方町

吉村えつ子 宿郷

三石 孝 村木郷

友重久美子 乙長野郷

樋口 勝秋 村木郷

金子まゆみ 西有田町

村竹 博志 皿山郷

長屋富美子 熊本市

朝長 孝幸 川棚町

田崎こずえ 稗木場郷

富永 寛治 大阪市

正田 賀子 稗木場郷

小濱 好美 東彼杵町

執行ちさ子 田頭郷

峰松 直人 福岡市

岡崎 純子 川内郷

富永 雅徳 岳辺田郷

小畑 和代 佐世保市

浅井 延好 佐世保市

藤田眞理子 協和郷

古賀 昭生 鳥栖市

三岳 千鶴 平野郷

来田 勝一 80歳 中尾郷

松尾 郁子 40歳 三股郷

中尾 スイ 90歳 三股郷

山本キミエ 50歳 湯無田郷

内田 初市 56歳 湯無田郷

湖 ウラ 97歳 井石郷

森村 末雄 69歳 金屋郷

一瀬 タツ 63歳 金屋郷

山口 正作 87歳 折敷瀬郷

服部 万平 86歳 折敷瀬郷

辻 徳馬 69歳 皿山郷

原 栄二 61歳 田頭郷

春口 功 61歳 岳辺田郷

楠本かおり 0歳 乙長野郷

おくやみ申し上げます

来田 勝一 80歳 中尾郷

松尾 郁子 40歳 三股郷

中尾 スイ 90歳 三股郷

山本キミエ 50歳 湯無田郷

内田 初市 56歳 湯無田郷

湖 ウラ 97歳 井石郷

森村 末雄 69歳 金屋郷

一瀬 タツ 63歳 金屋郷

山口 正作 87歳 折敷瀬郷

服部 万平 86歳 折敷瀬郷

辻 徳馬 69歳 皿山郷

原 栄二 61歳 田頭郷

春口 功 61歳 岳辺田郷

楠本かおり 0歳 乙長野郷



国保だより

「保険証が新しくなります」

国民健康保険証については、有効期限が二年となつていますが、現在使つていられる被保険者証(黄色地)は、今年の三月末日をもってその有効期限を満了し、四月一日以降は全て無効となります。

そこで先に配布を致しましたとおり新しい保険証を作成交付を致しております。

新しい保険証は、一般被保険者分桃色地、退職被保険者分白色地、となつております。従つて同一世帯内に一般被保険者と退職被保険者とがいられる場合は、二枚の保険証が交付されることとなりますので、病院等へ行かれる場合は、間違いないよう名前を確認してから持つてゆくようにしてください。なお今迄の保険証はご自分で廃棄してください。

また遠隔地の学校に在学中

五月の納金

- 水道使用料
- 国民健康保険料
- 国民年金保険料
- 固定資産税
- 軽自動車税

の学生、生徒の方及び特定施設に入院中の方で、**①**保険証または**②**保険証をお持ちの方については、改めて申請をして頂くこととなりますので、在学証明書等と、国民健康保険証、若しくは退職被保険者健康保険係まで申請をしてください。

わからないことがありましたら、役場国民健康保険係までご連絡ください。

健やかに育て
子供たち



児童福祉週間5月5日~11日



60年度「自動車文庫」巡回

(5月16日から6回)

昭和六十年年度県自動車文庫巡回予定は次のとおりです。
五月十六日(木) 七月十二日(金) 九月十三日(金) 十一月二十二日(金) 六十一年一月二十四日(金) 三月十四日(金) 以上いずれも午後町公民館です。

奨学生募集

次のとおり県および町の奨学生を募集します。

	波佐見町奨学資金	長崎県育英奨学資金
志願資格	<ul style="list-style-type: none"> 町内に住所がある人の子弟 学資の支弁が困難であると認められる人 他の団体から貸付を受けない人 高校(全日制) 大学(短大は含み大学院は除く) 	<ul style="list-style-type: none"> 県内に本籍があり1年以上居住している者の子弟 大学(短大、大学院を除く)
貸付金額(月額)	<ul style="list-style-type: none"> 高校 7,000円 大学 10,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 1年~3年 国・公立大学 15,000円 私立大学 20,000円 4年生 国・公立 13,000円 私立 15,000円
募集期限	5月30日(木)	5月10日(金)
申込先	波佐見町教育委員会管理課(役場内)	

洋裁教室生

好評ノ手づくりの喜びを味わってみませんか。

実施機関 波佐見町公民館

場 所 右に同じ

○婦人の部 毎週水・金曜日

午前 9時30分~11時45分
午後 1時30分~4時00分
(毎週一回でもよい)

○女子青年の部 (夜間)

普通科 毎週月・水・金曜日

初心者



研究科 毎週火・木曜日
(一部普通科)
時間は19時00分~21時30分
受講料 月額二千五百円
申込〆切日 四月二十二日
開講日 四月二十六日(金)
※くわしくは波佐見町公民館(電話八五二〇三四番)へおたずねください。

